

| 件名 | 提案理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|------|------|-------|-------|
| 議案なし | | | |

平成27年度第10回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所 | 出席者 | |
|--|--|---|
| <p>平成28年1月12日（火）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時08分</p> <p>第2研修室</p> | <p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長 濱 重 光</p> | <p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 森 山 博 之</p> |

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成27年度第10回教育委員会定例会を開会した。

2 平成27年度第9回定例会会議録の承認 承認

3 議 事 議案なし

4 その他 (1) 土曜授業の実施状況について (2) 平成28年成人式の報告について

5 委員報告

6 閉 会

議事内容等

| | |
|--------|--|
| 3 議 事 | 議案なし |
| 4 その他 | 土曜授業の実施状況について |
| 学校教育課長 | 土曜授業の実施状況について、報告資料を使いその内容を説明。 |
| 田原委員 | 1月9日(土)土曜授業日に開催された水之上小学校学校評議員会に行ったら、説明の反省点にあったように、平常授業なのだが学級によっては学力検査の難しそうな過去問を学級全体で取り上げ、子どもたちに考えさせて発表させたりして、十分に時間をかけて取り組んでいた。土曜授業が有効に活用されていると感じた。 |
| 委員長 | 教職員の意見に「第2土曜日と固定せず、弾力的な運用ができないだろうか」とあるが、第2土曜日でなければならないという法的拘束とかがあるのか。行く行くは月2回とかという方向も考えられると思うが。 |
| 学校教育課長 | 現状では月1回程度ということであり、今後のことについては承知していない。学校としては、年に1回程度でも学校行事に合わせて第3土曜日に変更するとかできないかとの意図ではないかと思う。ただ、小・中学校とも、子どもたちのスポーツ少年団活動や部活動でいろんな大会等が組まれるので、第2土曜日以外に変えることが本当にいいのかということもあり、原則第2土曜日でいった方が混乱は少ないのではないかと考える。 |
| 委員長 | これまでに、第2土曜日以外に実施した事例があるか。 |
| 学校教育課長 | 今のところ、本市ではない。 |
| 社会教育課長 | 平成28年成人式の報告について 平成28年成人式について、報告資料を使い説明。 (質疑なし) |
| 5 報 告 | 委員報告 |
| 委員長 | 教育委員の報告に入る。 |
| 委員長 | 1 肥後昌幸先生瑞宝双光章受章祝賀会について 12月20日に肥後昌幸先生瑞宝双光章受章祝賀会が開かれた。秋の叙勲ということで年末の多忙な時期に開催せざるを得なかったと思われるが、市外の方を含めて77名という多くの皆様方に出席していただき、ありがたいことだった。知り合いの方も多く、旧交を温めることもできたのではない |

委員長

か。祝賀会が、賑やかに盛大に成功裏に終わったことを喜びたい。

2 成人式について

他県の荒れた成人式のニュースを見て驚くばかりであるが、それに対して1月5日に開催された本市の成人式は、静粛で整然とした雰囲気の中でいい式典であった。4人の新成人の「はたちの主張」もそれぞれ内容のあるすばらしいもので、しっかりとした発表であったと思う。エールを送りたい。いつの時代も「今の若い者は」と物足りなさを込めて批判的に、また、反面、激励と期待を込めてついつい苦言を呈しがちである。ある評論家の言を借りれば、日本の若者は意外としっかりしているんだと唱える人もいる。それを考えると、日本の将来をちゃんと担っていけるのだと前向きに評価できるということではないだろうか。今年の成人式の様子から、期待が持て次代を託すことができる信頼感を感じる事だった。今後、しっかりと逞しく、日本の将来を背負っていくよう成長されればと思った。

田原委員

1 成人式について

- ・パンフをもらった時から「今年は何か違うぞ」との予感がしていたが、参加してみて本当に感動的で内容の充実した成人式であった。垂水の将来は明るいぞという思いを強くした。4人の「はたちの主張」は、ここまで育ててもらった親や家族への感謝の気持ちとか、今どういうことに取り組んでいる、悩んでいるという心の奥底にあるものを、あの場で赤裸々に表現する、吐露する内容となっており感銘を受けた。
- ・実行委員会にしっかりした思いがあって、自分たちで希望する成人式をやりたいという狙いをもって準備に取り組み、本番に臨んだのだろうというのを強く感じた。そして、そこでフォローする社会教育課スタッフとの連携がうまくいって、あのような立派な式ができるのだろうと思った。式典でいい流れができたのは、垂水中央中学校の1期生が揃ったということで、同窓会的な一体感の持てる、安心して参加できるということがあったと思う。今後、2期生、3期生と、こんな雰囲気の成人式が続いていってくれればと思う。
- ・思い出ライブラリーというのがあったが、映像に出てくる写真が全体写真であったりするのでどうしても小さくなることから、もう少し間をおいて展開してもらえたら写真がゆっくり見れ、分かりやすかったと思う。

2 消防出初め式について

1月6日の消防出初め式に参加した。雨のため、きららドームで式典を中心に行われた。永年勤続の表彰の中に、内助の功に対する独特の賞があり、2名の夫人が表彰を受けられた。消防団員という厳しい仕事は、内助の功がなければできないのだなと思い、納得できる賞であった。

3 水之上小学校学校評議員会について

1月9日に水之上小学校学校評議員会、土曜授業に参加させてもらった。授業参観と学校評価の意見交換があった。土曜授業を有効に活用していこうという学校の意図が分かる授業で、子どもたちもかねてと変わらず真剣に取り組んでいた。特に違和感なく特別なというのではなく、子どもたち

| | |
|------|--|
| 田原委員 | もスムーズにいつもの授業を受けているという感じだった。今後も学力向上の視点から、理解に時間を要する子に十分指導する態勢になれば良い。 |
| 中谷委員 | <p>1 成人式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年から立ち上げた「新成人を見守り隊」を1月4日に実施し、我が家に45人集まって昔話などをした。また、大晦日のもうすぐ新年になるうとする時刻になって心配事があって来られた母親があり、除夜の鐘のお勤めの関係で丁寧な対応はできなかったが、話すことで安心された様子で帰って行かれた。どの親も子どもが生まれて大きく成長していく過程で、いろんな思いをしながら子ども親も人間になっていくのだなと感じることだった。成人式でのスピーチに「生き上げていく」という言葉があったのだが、それは「自分という私に寄り添って受け止めて、しっかりと自分自身を作り上げていくことが、二十歳までの自分を支えてくださった方々へのご恩に報いることだ」と伝えたかったんだと思う。 ・二十歳の大学生が、「今夜、地域の子どもたちが除夜の鐘を撞きに来た時に、食べさせてあげてください。」と、たくさんの菓子を届けてくれた。その子も寺子屋で育った子であるが、身も心も大きくなって二十歳になったことを温かい行動で示して帰ってきてくれた。本当にうれしいことで、私たちは子どもたちからたくさんの宝物をいただいているなど、年の暮れに思うことだった。 <p>2 浜駅伝大会について</p> <p>1月2日に柗原伝統の浜駅伝大会が開催された。長濱教育長にも出席していただいた。新年早々、柗原にこんなたくさんの人がいるんだと思うくらい賑やかに集えることができうれしかった。きれいな海岸の砂に足を取られながらも、次の人にタスキを渡していく。頑張れという大きな声援に、走る人も見ている人も新しい年を頑張ろうという気持が湧いてくるのである。地域の皆さんもこの駅伝に行けば皆に会えるので、いそいそと行くのだろうなと思うことだった。</p> |
| 葛迫委員 | <p>1 成人式について</p> <p>今年の成人式は、垂水中央中学校が開校して初めての卒業生が新成人ということで、1期生・はじまりとしたタイトルだった。それにふさわしくオープニングアトラクションから始まり、はたちの主張、そして恩師からのメッセージという式典の流れがきめ細かく、ユーモアを交えてのいい成人式であったと痛感した。特に、同窓会的な成人式ということで、恩師からのメッセージというところで、お世話になった恩師を呼んで壇上でのやり取りがあった。当時の怖かった先生や教育科目や、部活動、生徒指導に厳しかった先生との思い出話とか、これから大人になっていく新成人へ恩師からのユーモアと厳しさを込めたメッセージが、来場者にもよく伝わったのではないかな。非常にすばらしい成人式であった。</p> |
| 教育長 | <p>1 浜駅伝大会について</p> <p>1月2日、柗原の第42回浜駅伝大会に、市長ともども出席させていただいた。柗原にはきれいな海や浜が残っており、昨年12月10日に地域の方々</p> |

教育長

が清掃してくださったとは言えきれいな浜で、天気も良く子どもたちが元気に駅伝に臨んでくれた。ふるさとの良さを感じながらこのような長く続いている行事に参加することで、私ども教育委員会が進めている「ふるさと垂水を愛し誇りにする子どもたち」が育っていくものと感じた。子どもたちが、親やチームの仲間、地域との絆を深め合っている光景も印象的で、柘原小学校の教頭先生家族や校長先生夫妻、学校主事等々も参加され、事務の西水流先生に至っては全区間5.5kmを一人で走られた。今の柘原小学校の教職員の良い職場環境を目の当たりにしてうれしく思った。80数名が参加され、多くの地域の皆さんも見に来られて、新春にふさわしい行事であると改めて感じた。

2 成人式について

1月5日の今年の成人式については、いろいろお褒めの言葉をいただいているが、その裏には社会教育課職員の頑張りがある。中でも印象的なのは、市議会議員として何期も当選していらっしゃる方が、成人式の翌日の消防出初め式会場で、「今までの成人式の中で一番いい成人式だった。」とおっしゃったことである。それくらい参加者の心に残った成人式だったのではないかと感じている。自分たちの仲間が実行委員として企画から運営まで携わるということが式の冒頭で紹介されるので、閉会のあいさつまでの間に、自分たちもこの成人式を壊してはいけない、思い出に残るものにならなければならないという気持が培われていくのだろうと思っている。実行委員会方式というのが、行政が整えてやって押しつけて実施するのではなく、自分たちで企画、運営して実施することに価値があるし、仲間意識も芽生えるであろうし、思い出に残る成人式になっているのではないかと感じている。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

12月11日から1月12日までの主な行事等について報告。
併せて、2月12日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉会

